



商友会報

第59号

令和5年3月31日

発行者

米沢市本町3-1-12
山形県立米沢商業高等学校

商友会

TEL 22-8055 FAX 21-2110

印刷 (株)川島印刷

カウントダウン始まる!

商友会会長 鈴木 陽市



商友会会員の皆様、日頃より本会に対しましてご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

この春よりコロナウイルス対策が大幅に緩和されようとしておりますが、果たして医療機関は受け入れてくれるのでしょうか? 高齢になると行動制限緩和よりもそちらの方が気になるところです。万が一かかっても「救急車でたらいまわし」されるのではないかと? ワクチンや治療費の個人負担分はいくらかかるのか? 心配の種はつきません。ましてや日々の生活用品の値上げや燃料費の高騰が続ぎ、家計圧迫は極めて深刻な状況ですので、「コロナに勝つ」などという状況ではありません。コロナ時代の生活、医療の在り方を根本的に見直して、年金生活者でも平穏で安心できる生活が送れるようになることを願ってやみません。

さて、母校は令和四年度に「創立一二〇周年」を迎えましたが、二年後の令和七年度より、現在の「米沢工業高校」と統合して「新高校」としてスタートすることが決定しております。これまで、明治・大正・昭和・平成・令和と連続と続いてきた米商の歴史が幕を閉じようとしております(あと二年)。すでに同窓生諸氏からは、この件に関してご心配の声をいただくようになり

ました。県としては、令和五年度より「開校準備室」を設置し、具体的な統合関係の作業を進めていくのだそうです。関係団体の統合に関しては校内組織(P.T.A.など)が先で、同窓会の扱いの検討は最後になるそうです。しかし、同窓会としては、機関会議の日程もあることから、すでに独自に両校の事務局を中心に話し合いをスタートさせております。「商友会の今後」と「新高校同窓会の発足」の二つについて同時進行的に検討していくこととなります。その経過については、常任理事会・総会・会報を通じて、皆様にもお知らせする予定です。ご意見等があれば事務局(学校)までお願いいたします。

同窓会は「青春のひと時を共に過ごした仲間たちとの大切な思い出を共有する組織」ですから、母体が変わればおのずと異なる組織ということになります。したがって現行の同窓会組織(商友会)は、新高校に変わろうとも、その存在がなくなることはありません。一人ひとりの卒業生の方から見れば、現行の商友会と今後組織される新高校の同窓会とは似て異なるものと考えます。同窓生各位におかれましては、これまでどおり「商友会」として「米商〇〇年度卒業生の会」とか「米商デコ〇〇の会」といった名称で同級会を行ってくださって結構だと思えます。同窓会は名称にこだわる必要はありません。あくまで心のよりどころの一つとしていつまでも存在し続けていくものです。そうした意味で「商友会」は永遠です。同窓生諸兄におかれましては、今後ともよろしく願います。

令和4年度卒業生 新理事紹介

先輩方に続いていけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



- 1組 杉山さくら
樋口 伯瑠
- 2組 梅津優希菜
大河原帆乃伽
- 3組 五十嵐鉄生
中島 滯

コロナに負けず頑張ろう



株式会社 第一ほうせい
きものモモ彩

代表取締役会長 鈴木 陽市
代表取締役社長 鈴木 ゆかり

〒992-0045 山形県米沢市中央二丁目5番50号
TEL(0238)22-8221 FAX(0238)22-8222
ホームページ <http://www3.omn.ne.jp/~housei/>
メールアドレス dhsuzuki@tbz.t-com.ne.jp

米商120年の歴史を振り返る

あの頃
みんな若かった！

閉校まであとわずか、そこで残りの時間を使ってこれまでの米商の歴史を振り返ってみたいと思います。3回シリーズでお届けいたします。

第1回 明治(創立)～昭和初期まで

明治35年、米商をはじめとして7校の商業学校がこの世に誕生しました。全国で35番目(東北では3番目)となります。開校の朝は晴天で、祝開校の旗を校門に掲げ、開校式の歌を歌ったそうです。

明治期の修学旅行は宮城や福島への「徒歩」旅行。歩け歩きの四泊五日でした。また、生徒の活動で特徴的だったのが販売実習です。当時まだ「土風の気質」の高かった米沢では、売上金で経費を賄いながら地域を大八車で売り歩くという物売り(販売実習)は大変不評だったと伝えられています。

「商友会」の発足は明治39年、人々の熱意で補習学校から乙種、そして甲種へと昇格を果たし、着実に商業学校としてのステータスを挙げながら、内容の充実も図られていきました。

しかしながら、大正6年・7年と2度の大火により校舎が全焼。借家住まいの5年間という苦難の時もありました。

校歌・校訓「至誠・進取」が制定されたのは、大正11年(創立20周年)。「進取」は財界の雄「渋沢栄一氏」に揮毫していただきました。またこの年に米沢商業学校商会(購買部)や財団法人米商後援会が発足しております。

時代は進み昭和へ。昭和初期はまさに戦争に翻弄された時代でもありました。

今回は昭和の激動期から平成の米商をご紹介します。

「至誠」鬼神も泣かすものは世の中の人の心の誠なりけり 菅原道真
至誠は真心である。自分の心が正しくなければ、鏡にうつる姿も正しくうつらない
「進取」=なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人の なさぬなりけり 上杉鷹山
進取は勇気である。正しき道はどこまでも自ら進んでやり通すという勇気のある行動だ



開校式



第1回入学生



第1回卒業生



米商生実習販売

「我青春の思い出～あの頃～」(投稿より)

一番苦手な〇〇先生とローカですれ違いざまに話しかけられたとき、それだけで恐怖で固まってしまいました。当時の先生は「恐怖の大王」のようでもありました。なつかしいです。

現在強き母となった当時のか弱き乙女より

当時、思いを寄せた読書家の女生徒と会うため、本など読まない私が図書委員に立候補。ただ昼の当番の時は一度も会えませんでした。動機が不純な私への罰でしょうか。青春だったな～

それでも図書委員としては有能だった私より

思い出大募集！

同窓生の方をお願いします。

商友会では今後発行予定の記念誌等で使わせていただくために上記のような「我青春の思い出～あの頃～」の原稿を募集しております。ご自身の思い出や在学中の米商の様子など、青春の1ページを飾った若かりしあの頃について、是非多くの方に原稿を頂きたいと思っております。字数はおまかせします。1行でも結構です。また、提供いただける当時の写真なども大歓迎です。

掲載可能なお名前かネームもお願いします。

原稿送付先(郵便の場合)

〒992-0037 山形県米沢市本町三丁目1番12号

山形県立米沢商業高等学校気付 商友会事務局 宛て

またはFAXでも大丈夫です。FAX番号0238-21-2110

お問合せ先：0238-22-8055 商友会事務局担当者まで

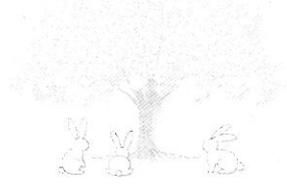
ありがとうございました

2022 広告協賛事業所一覧

120周年総会にあたり、多くの事業より広告の協賛をいただきました。

以下にそのお名前を掲載させていただき御礼に代えさせていただきます。

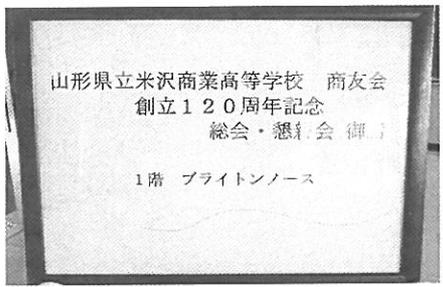
1 協同組合米沢総合卸売センター様	26 (株)保険プラザ様	51 第一ほうせい様	76 そばの店ひらま様
2 米沢商工会議所様	27 (有)ヨシムラ(アパレル)米沢工業高校前店様	52 宗川功業(株)様	77 ヤリミス自動車様
3 太田建設様	28 (株)日建設備様	53 (株)アン・モード様	78 はるかせ事務所様
4 データシステム米沢様	29 特定非営利活動法人ともの家様	54 ニューヨーカー米沢様	79 印象の安藤様
5 東北物流(株)様	30 渋谷文具(株)様	55 (株)協和創研様	80 (有)アメニティ様
6 塩谷物流(有)様	31 (株)勝組様	56 (株)新田様	81 東北労働金庫米沢支店様
7 共栄火災海上保険様	32 相田製箱所様	57 アピコ自動車工業(有)様	82 こくみん共済coop米沢支所全労済様
8 セコム(株)米沢支社様	33 (株)東北ティーシーピー様	58 螢友会様	83 生活クラブやまがた生活協同組合様
9 海老屋商店(特急寿し)様	34 (株)東北マテハン様	59 (株)パルコモード様	84 きものと福寿織様
10 米沢信用金庫様	35 (株)グロスファクト様	60 商友会高島様	85 高橋自動車板金塗装工場様
11 (株)小泉創芸様	36 原幸商店様	61 福美屋様	86 小形商店様
12 (株)羽前社様	37 山形故紙回収(株)様	62 (株)米沢食肉公社様	87 ハナブサ自動車販売様
13 (株)青葉堂印刷様	38 米沢酒類販売(株)ツバメタクシー営業所様	63 米沢日石(株)様	88 スズデン様
14 上杉城苑様	39 (株)ワイ・エム・ビー様	64 昭和31年(第53回)卒業生一同様	89 サラト様
15 トータルサポート様	40 リコージャパン(株)様	65 大友時計店様	90 (株)川島印刷様
16 シルキーリビング様	41 山形ゼロックス富士フィルムBI山形様	66 増田屋菓子店様	
17 カーテンホーム21様	42 舟山病院様	67 (有)市川商店様	
18 (株)アクセスよねざわ様	43 唐澤物流サービス様	68 オバタ靴店様	
19 時の宿すみれ様	44 高野保険事務所様	69 おかしのアトリエAlice様	
20 (有)高山工務店様	45 (株)丸定様	70 (有)白いくも様	
21 金子建設工業(株)様	46 粉名屋小太郎様	71 三浦建設工業(株)様	
22 (株)TSIソーイング様	47 金田屋様	72 (株)翔様	
23 (株)肉の黄木様	48 丸和商事様	73 Diningえん&居酒屋えん様	
24 村山運輸(株)様	49 相田建設(株)様	74 NPO法人置賜ひまわり会様	
25 合同会社 はた楽カンパニー様	50 (株)布四季庵ヨネオリ様	75 二瓶製館所様	



創立120周年記念総会・懇親会

2022年11月19日(土)グランドホクヨウにて3年ぶりに総会が行われました。

コロナ禍にあって過去2年間では中止(書面議決)に追い込まれた総会・懇親会でしたが、なんとかやってほしいとの声を受け、2度の常任理事会を開催し検討した結果、通常の6月より時期はずれましたが、ようやく開催することが出来ました。



山形県立米沢商業高等学校 商友会
創立120周年記念 総会・懇親会



開始前の会場の様子
コロナ対策のため座席を
開けています。



「大抽選会」の景品
ご提供いただいた方(順不同)
ユナイテッド様・置賜ひまわり会様
香坂酒造様・カーテンホーム21様
米沢信用金庫様・井上正順様
我妻淳一様・Alice様・高梨正博様
山木義昭様・肉の黄木様

統合に向けた動きについて（お知らせ）

令和7年3月、米商は122年の歴史の幕を閉じます。すでにマスコミ等でご存知の方も多いと思いますが、いったいどのような学校になるのか？同窓会はどうなるのか？さまざまにご心配頂いていることと思います。以下同窓会の状況をお知らせしたいと思います。

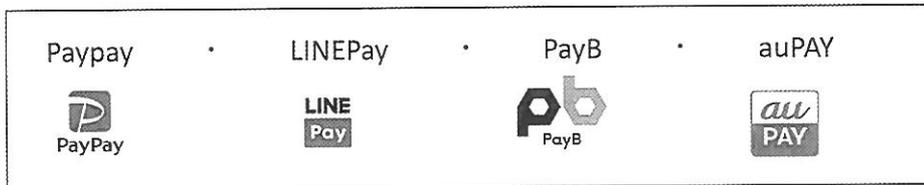
改めて申し上げますが、「山形県立米沢商業高等学校」は「山形県立米沢工業高等学校」と統合することが決定しており、統合後は米工の校舎へと移ります。現在両校では教育課程や制服・部活動など生徒に直接関わる内容については、少しずつではありますが話し合いが進められているところです。

当然同窓会組織についても話を進めていく必要がありますので、さっそく両校の会長が話し合いをもって両校から数名ずつ選出された方々で「組織検討委員会」を立ち上げ「課題と方向性」について話し合っていくこととなりました。主な項目は①新同窓会組織の名称（現在の名称は米商：商友会、米工：鶴城工親会）について②新会則（特に総会日：米商は6月第三土曜日、米工は4月28日）について③役員構成について④支部について⑤どのような進め方をするのか（スケジュール）等です。

今後は検討委員会での話し合いをもとに「常任理事会」や「総会」での審議を経て承認を得る手続きを進めていくこととなります。その経過については商友会報にてお知らせしたいと考えております。会員の皆さん方にもご心配な点があれば事務局までご連絡ください。

③対応アプリと操作方法

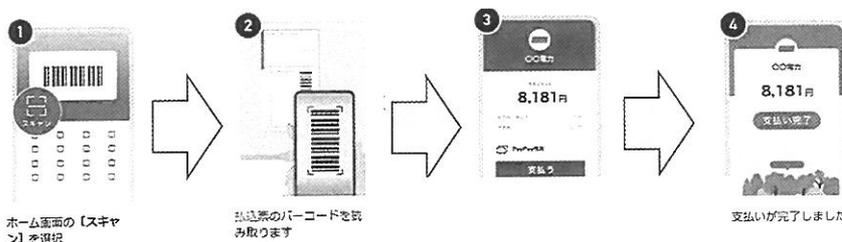
○対応アプリ



○操作方法

アプリ会社様により、異なりますが下記の通りとなります。

PayPayの場合、PayPayサイトより抽出



「商友会」では会費納入にスマートフォン決済が可能になっております。是非ご活用ください。

先日ある知人の葬儀に出席をしました。いま、コロナ禍でどのような形になっているのか。二年前、ある俳優の方がTVで言っていたのは「病院に搬送された後、一度も会えることなく見送った。」というものです。大切な人との最後もお別れができない。全国的に故人を悼む深い悲しみとともに、最後のお別れもできない家族の無念さが伝わり衝撃的でした。

では現在はどうかという、病院で亡くなると最後のお別れは同居家族でも一人だけ、入院中の見舞いも家族のうち一人（つねに同じ人に限る）のみ、火葬は市町村によっても異なりますが、十人以上というところもまだあります。葬儀もいわゆる「家族葬」という形が多く、そのほかの方は一般参列者としてご焼香のみというものです。このように対応はそれほど変わっていないようです。

一方、この春からはマスクしかり、大幅な緩和がなされるようです。高校では卒業式を目前にして若干前倒しの方式が進められています。日常生活に際して、五類に変更されることでの緩和は歓迎しますが、病院や葬儀と言った分野ではどうなるのでしょうか。本校の卒業生にも看護師になる人が毎年数名おられます。その人たちの労苦を考えると、表向きの面だけがコロナ前に戻ることには違和感が残ります。すこしでも負担が軽くなっほしいと思います。

さて、本校もあと二年となりました。どのような形で締めくくることが、人と同じように歴史ある学校の締めくくりも大切な事業だと思っています。どうか先輩諸兄のお知恵をお貸しください。

編集後記

先日ある知人の葬儀に出席をしました。いま、コロナ禍でどのような形になっているのか。二年前、ある俳優の方がTVで言っていたのは「病院に搬送された後、一度も会えることなく見送った。」というものです。大切な人との最後もお別れができない。全国的に故人を悼む深い悲しみとともに、最後のお別れもできない家族の無念さが伝わり衝撃的でした。

では現在はどうかという、病院で亡くなると最後のお別れは同居家族でも一人だけ、入院中の見舞いも家族のうち一人（つねに同じ人に限る）のみ、火葬は市町村によっても異なりますが、十人以上というところもまだあります。葬儀もいわゆる「家族葬」という形が多く、そのほかの方は一般参列者としてご焼香のみというものです。このように対応はそれほど変わっていないようです。

一方、この春からはマスクしかり、大幅な緩和がなされるようです。高校では卒業式を目前にして若干前倒しの方式が進められています。日常生活に際して、五類に変更されることでの緩和は歓迎しますが、病院や葬儀と言った分野ではどうなるのでしょうか。本校の卒業生にも看護師になる人が毎年数名おられます。その人たちの労苦を考えると、表向きの面だけがコロナ前に戻ることには違和感が残ります。すこしでも負担が軽くなっほしいと思います。

さて、本校もあと二年となりました。どのような形で締めくくることが、人と同じように歴史ある学校の締めくくりも大切な事業だと思っています。どうか先輩諸兄のお知恵をお貸しください。